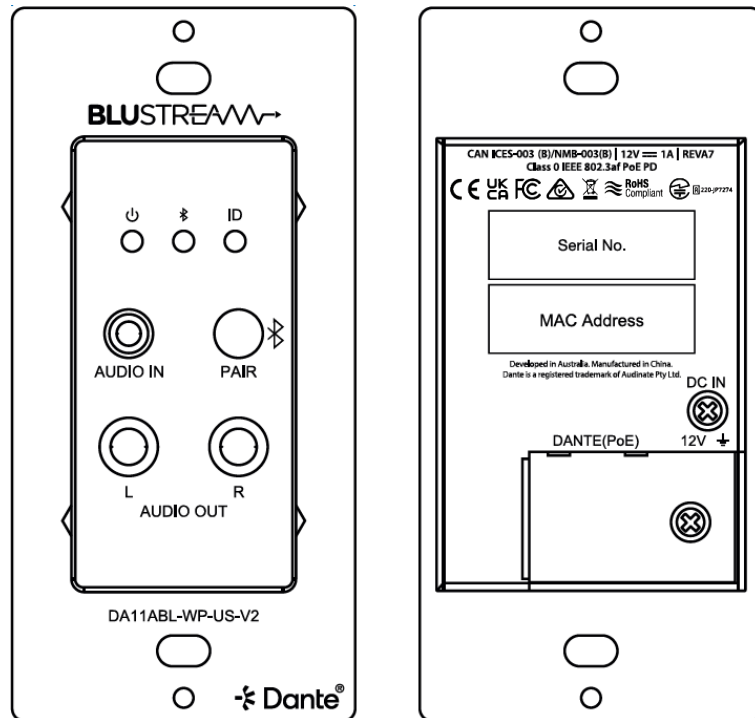


ウォールプレート型 Bluetooth/アナログ Dante コンバータ 「DA11ABL-WP-US-V2」 取扱説明書



改定履歴



バージョン	提供日	変更点
Ver1.0	2024/7/10	初版

安全上のご注意


この度は、DA11ABL-WP-US-V2 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。
本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえでご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽症または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------

**警告**

- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は技術・技能を有する専門業者が取り付け工事を行うことを前提に販売されているものです。専門知識のない方が取り付けをされますと、感電や出火などの恐れがありますので、取り付けの際は、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所（結露しているところ）、埃や油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。
- 使用中に本機から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してご使用の全てのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。

**警告**

- PoE給電を使用する際は、IEEE802.3af以上の規格に適合したLANケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルの太さは、AWG20～28を推奨します。
- LANケーブルやDCコネクタを抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。
- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルを全て抜いてから行ってください。また、化学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変色や変形、故障の原因になります。水洗いは絶対に行わないでください。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってから拭き、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。

 **注意**

- 本機のサイズに見合うスイッチボックスにお取り付けください。
- 密閉された場所に設置するときは、スイッチボックスの有無に関わらず、放熱用スペースが必要となります。本機周囲は使用温度範囲内でご使用ください。
- LANケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。

 **注意**

- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	6
製品特長	6
はじめに	7
ネットワークスイッチの選択	7
LAN ケーブルの選択	7
Bluetooth デバイス	7
本機各部名称	8
同梱物一覧	9
本機 PAIR ボタンについて	エラー! ブックマークが定義されていません。
設置と準備	10
スイッチボックスへの取り付け	10
電源について	11
PoE 給電	11
DC 給電	11
RJ-45 端子インジケーターステータス説明	12
接続手順	12
接続図	13
Dante コントローラーソフトウェア	14
ダウンロード先	14
本機の検知	14
本機の IP アドレス変更	14
Dante コントローラー基本操作	15
詳細設定	15
Web GUI について	17
Web GUI への接続手順	17
Web GUI の Log in ページについて	18
Web GUI のログインアカウント操作権限の設定	19
各アカウントの Web GUI ページについて	19
Telnet 経由で本機を制御	26
ターミナルエミュレータソフトウェア設定例	26
API コマンド一覧	26
Windows PC で Telnet 通信を行うための設定	29
PC の設定 - TFTP & Telnet を有効にする	30
PC の設定 - IP アドレスの固定方法	31
FAQ	33
主な仕様	34
外形寸法	35
サポート専用問い合わせ先	35

製品概要

DA11ABL-WP-US-V2 は、2ch の Bluetooth およびアナログオーディオ信号入力に対応した 2x2 Dante[®] デジタルオーディオコンバータです。Bluetooth およびアンプや PC 等からのアナログオーディオ入力を Dante オーディオに変換するほか、Dante オーディオをアナログオーディオにマルチ入出力変換が可能です。

フロントパネルのボタン操作で入力ソース切り替えができるほか、Web GUI や API コマンドにて入力感度/出力ゲイン調整も可能で、AES67 RTP オーディオ伝送にも対応。

本機への電源供給は PoE (Power over Ethernet)、または DC12V から選択できます。

製品特長

- Dante[®] 2x2 オーディオコンバータ
- 入力: Bluetooth、アナログオーディオ (3.5mm ステレオジャック)
- 出力: アナログオーディオ (RCA L/R)
- サンプリングレート 44.1/48/88.2/96kHz、ビットレート 16/24/32Bit 対応
- Web GUI または API を介して、入力感度/出力レベルを調整可能
- レイテンシー時間 2/3/4/5/10ms 調整可能 (Dante コントローラー経由)
- AES67 RTP オーディオ伝送対応
- PoE または DC 12V 1A 電源入力対応

はじめに

本製品を使用するにあたり、以下をご確認ください。

ネットワークスイッチの選択

Dante ネットワークを構成するには以下の要求を満たすネットワークスイッチが必要となります。

必須要件

- 1Gbps 対応ノンブロッキングネットワークスイッチ(レイヤー2 以上)であること
- 省電力モード(例:Energy Efficient Ethernet)を確実にオフできること
- 4 つのキューを持つ QoS(Quality of Service)に対応すること
- DiffServ(DSCP)QoS に対応すること

推奨要件

- マネージドスイッチであること
- DHCP に対応していること
- PoE に対応していること(環境による)
- IGMP Snooping v2/v3 に対応していること

詳しい要件は Audinate 公式 HP にてご確認ください。

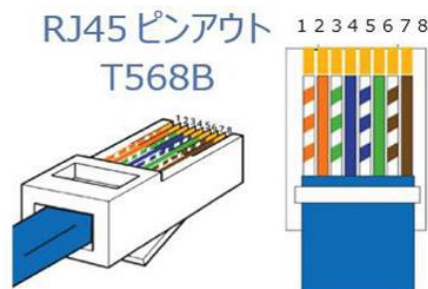
<https://www.audinate.com/learning/technical-documentation?lang=ja>

LAN ケーブルの選択

本機に接続する LAN ケーブルは、正しい RJ45 ピン構成で終端してください。

LAN ケーブルは「ストレート」(ピン対ピン)、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。

LAN ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。

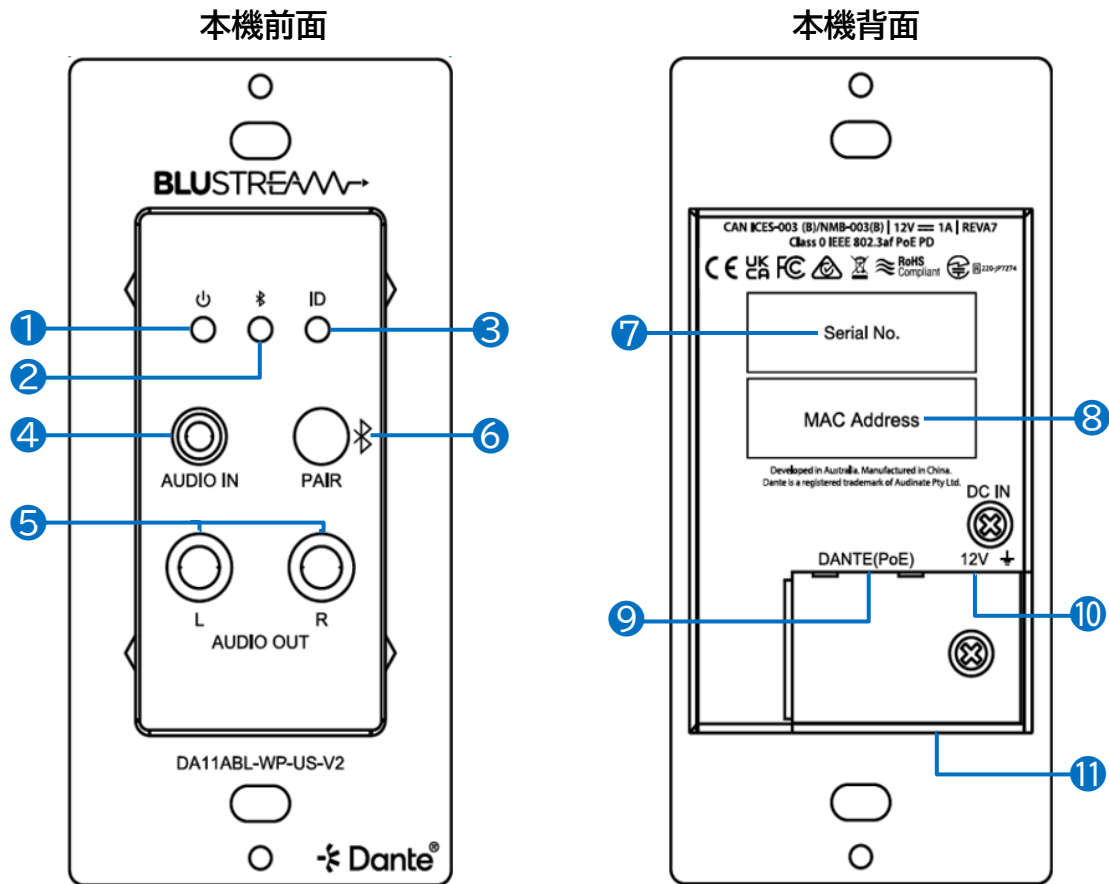


Bluetooth デバイス

Bluetooth 5.0 テクノロジーにより、最大 2 台の Bluetooth デバイスの同時接続が可能となり、選択されたデバイスのオーディオが Dante ネットワークに送信されます。

Bluetooth デバイスと接続するには、本機に電源が入っている状態で Bluetooth デバイスの設定に移動し、Bluetooth 接続を有効にすると DA11ABL-WP-US-V2 が接続可能なデバイスとしてリストに表示されます。

本機各部名称



番号	名称	説明
①	⏻	電源 OFF:消灯、電源 ON:青点灯(立ち上げに約 20 秒要す) ^{※1}
②	📶	Bluetooth 未接続時:青点滅、Bluetooth 接続時:青点灯 ^{※1}
③	ID	点滅することでデバイスの識別を補助(初期設定値:OFF) ^{※1}
④	AUDIO IN	3.5mm ステレオジャック(アナログオーディオ入力用)
⑤	AUDIO OUT L/R	RCA L/R(アナログオーディオ出力用)
⑥	PAIR	各 PAIR ボタン操作で下記を実行 ^{※1} 1 回押下: Manual 設定時、Bluetooth 接続設定が可能になる ^{※4※5} 2 連続押下:入力ソースをアナログ⇄Bluetooth 交互に切り替える 5 連続押下:ネットワークとアカウント設定を含む、本機のシステム設定をリセット 3 秒長押し:全ての Bluetooth 接続を切断する
⑦	Serial No.	本機のシリアル番号
⑧	MAC Address	本機の MAC アドレス
⑨	DANTE(PoE)	Dante ネットワーク接続用 RJ-45 端子(PoE) ^{※2}
⑩	DC IN 12V ⚡	付属の 2 ピンターミナルブロックを使って、DC 接続する際に使用 ^{※2※3}
⑪	BT UPGRADE	microUSB メス端子 ※使用しません(保守用)

※1 各動作は出荷時の設定です。設定は Web GUI や API コマンドにて変更可能です。

※2 LANケーブルよりPoE 給電時は DC 給電しないでください。

※3 本機がネットワークスイッチから PoE 給電されない際、DC 給電で使用。

※4 初期設定では Bluetooth 接続機能が ON の為、Bluetooth 接続設定時の操作は不要です。

※5 設定した時間内に接続を確立できないとタイムアウトとなります。(初期値:30 秒)

同梱物一覧

本機には、以下の物が同梱されています。全て揃っているか確認してください。

万一、同梱物に不足があった場合は、販売店までご連絡ください。

品名	数量	イメージ
専用マグネットプレート	1 個	
2 ピンターミナルブロック(ピッチ 3.5mm) ※本体に取り付けてあります	1 個	
ネジ(サイズ M4x10)	2 本	
使用上の注意/保証書	1 部	

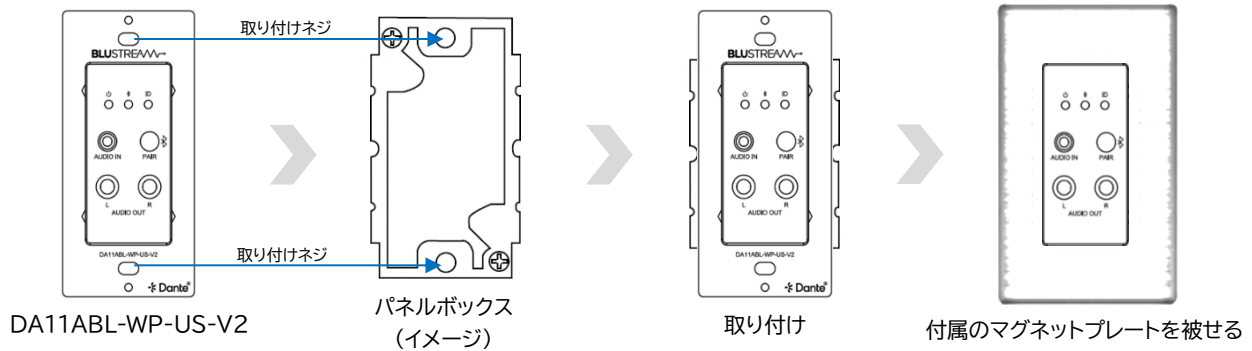
設置と準備

専門知識のない方が取り付けをされますと感電や出火などの恐れがありますので、取り付けの際は必ず専門業者に依頼してください。

※機器の配線や設置が完了するまで、本機へ電源入力を行わないでください。

スイッチボックスへの取り付け

取り付けネジ(サイズ M4x10)でパネルボックスへ本機を取り付け、付属のマグネットプレートの本機に被せます。

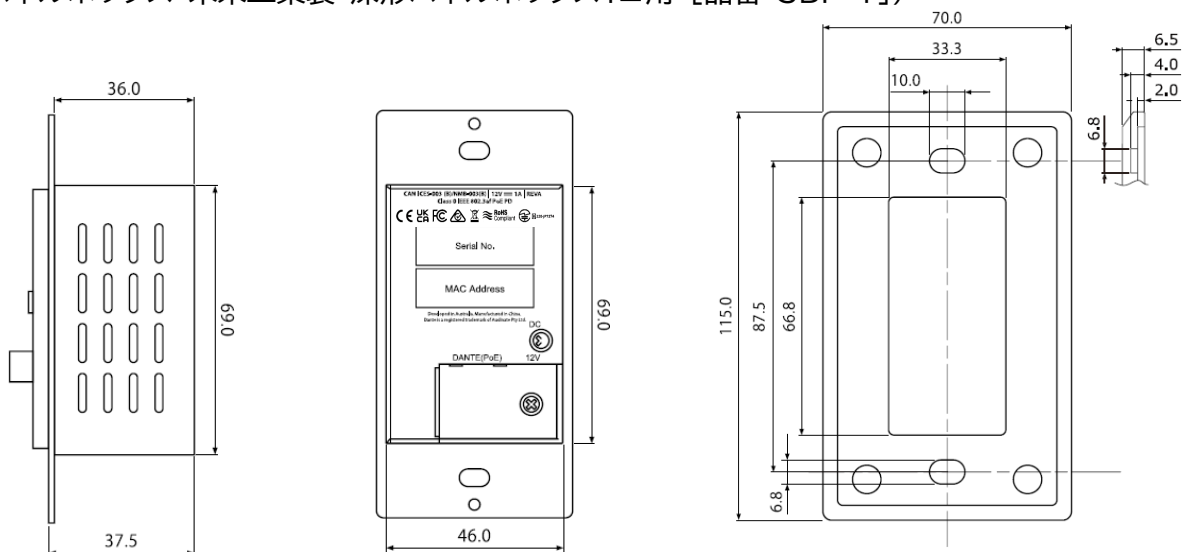


注意

取り付けネジはゆるまないように十分に締め付けてください。

また本製品の動作温度は 0~40℃です。密閉された場所に設置する際は、パネルボックスの有無に関わらず放熱用のスペースが必要となります。本機周囲は動作温度範囲内でご使用ください。

パネルボックスの奥行によっては取り付けられない場合がありますので、深型をご利用ください。
(適合パネルボックス: 未来工業製 深形パネルボックス1コ用 [品番: SBP-Y])



重要

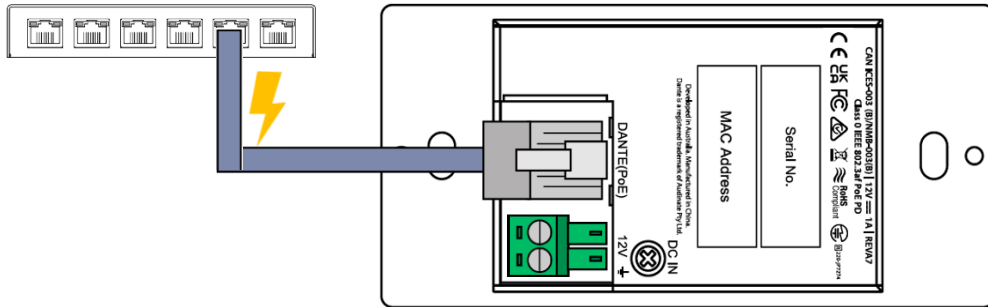
パネルボックス取り付けに使用するネジは、上記の本機及びマグネットプレートのネジ穴寸法(単位: mm)を参照して選定してください。

電源について

本機への電源入力には PoE 給電または DC 給電(付属の 2 ピンターミナルブロックを利用)の 2 つの方法があります。

PoE 給電

PoE 給電で使用する際は、必ず IEEE802.3af 以上の規格に適合した LAN ケーブルを使用してください。

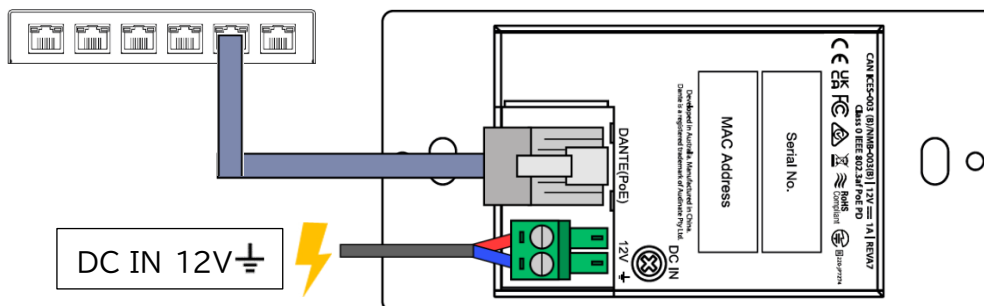


注意

本機への PoE と DC 電源入力は同時に行わないでください。また、本機には IEEE802.3af に非対応の PoE 電源供給機器は絶対に使用しないでください。故障の原因になる場合があります。本機の電源を ON/OFF する際は、接続機器の音量及び本機の出カレベルを最小に下げてください。

DC 給電

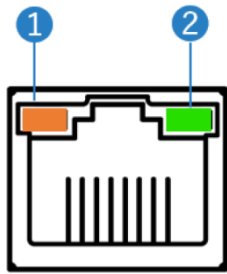
本機がネットワークスイッチから PoE 給電されない際は、別途電源をご用意いただき付属の 2 ピンターミナルブロックを使用して本機へ DC 電源供給を行うことができます。



注意

付属の 2 ピンターミナルブロックを使用する際、ピンアサインを間違えないように配線してください。電源ケーブルの太さは、AWG20~28 を推奨します。

RJ-45 端子インジケーターステータス説明



インジケータ	ステータス	説明
①	消灯	電源 OFF の状態
	橙色点灯	電源 ON、且つネットワークスイッチに接続している状態
②	消灯	電源 OFF の状態
	緑色点滅 (規則的)	DHCP 機能が OFF になっていないネットワークスイッチに接続している状態
	緑色点滅 (不規則)	DHCP 機能が ON になっているネットワークスイッチに接続している状態

接続手順

必ず次の手順で接続してください。誤った手順で接続すると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

本機の電源を ON/OFF する際は、接続機器の音量及び本機の出力レベルを最小に下げてください。

ご使用前

- ① 本機に接続する全ての機器の電源が OFF になっていることを確認。
- ② 必要に応じて本機と入力ソース機器、及びアンプ等を接続する。
- ③ ご使用環境に応じて前頁の「PoE 給電」、もしくは「DC 給電」で本機に電源入力する。

(PoE と DC 電源入力は同時に行わないでください。また、IEEE802.3af に非対応の PoE 電源供給機器は絶対に使用しないでください)

- ④ 接続機器の電源を ON にする。

ご使用后

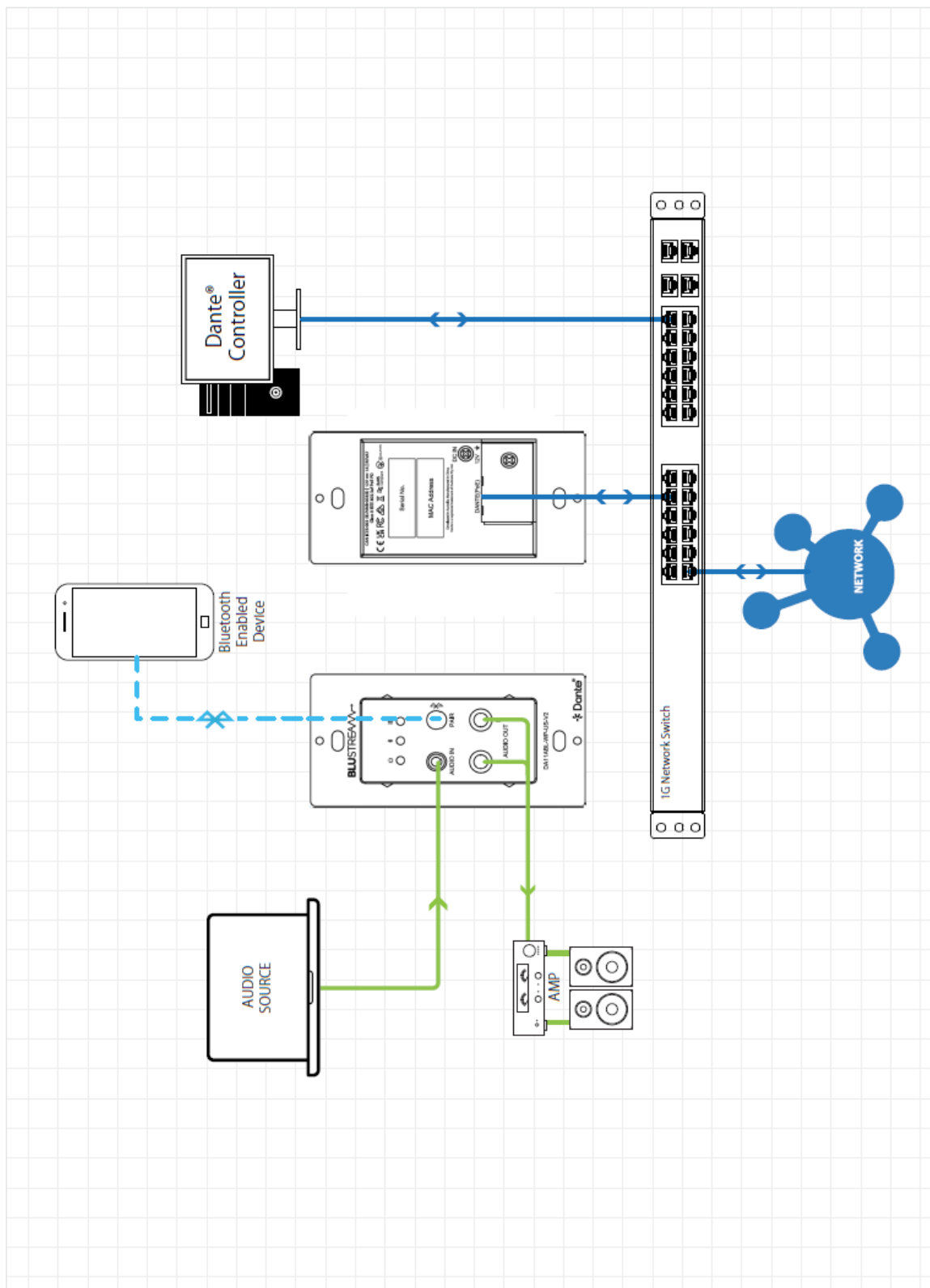
- ① 接続機器の電源を OFF にして、各ケーブルを外す。
- ② 長時間使用しない場合は、以下の方法で本機の電源を切る

「PoE 給電の場合:本機から LAN ケーブルを抜く」、「DC 給電の場合:AC アダプターを抜く」

接続機器変更時

- ① 接続機器の電源を OFF にして、各ケーブルを外す。
- ② ご希望の機器を接続して電源を ON にする。

接続図



BLUSTREAM

Example Schematic
DA11ABL-WP-US-V2

-  Bluetooth Audio
-  CAT Cable
-  Analog Audio

Dante コントローラソフトウェア

本機は、Dante コントローラソフトウェア(以下“Dante コントローラ”)を使用してオーディオのルーティングおよび設定を行います。

ダウンロード先

Dante コントローラは、Audinate 社のウェブサイトから無料でダウンロードできます。ご利用の PC (Windows または macOS) に合わせてインストールしてください。

<http://www.audinate.com/products/software/dante-controller>

Dante コントローラ

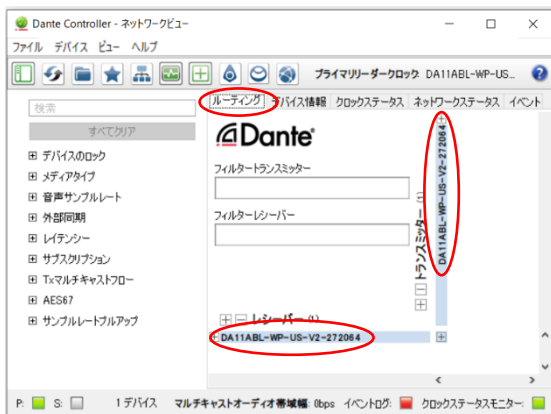
Dante コントローラ UI バージョン: 4.12.0.3
 Dante コントローラ パッケージバージョン: 4.12.0.4
 Java バージョン: 17.0.2
 Dante ディスカバリーバージョン: 1.3.2

本書は左図のバージョンの Dante コントローラの操作方法を説明します。
 ご利用のバージョンによって設定画面、項目が異なる場合があります。予めご了承ください。

本機の検知

本機を Dante ネットワークに接続すると Dante コントローラは自動的に本機を検知します。

Dante コントローラ上では”DA11ABL-WP-US-V2-xxxxxx”の名称で認識されます。Dante コントローラの「ルーティング」画面から Dante エンコーダ(送信機)または、デコーダ(受信機)のルーティング設定を行ってください。



注意

Dante コントローラで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は必ず LAN ケーブルを介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

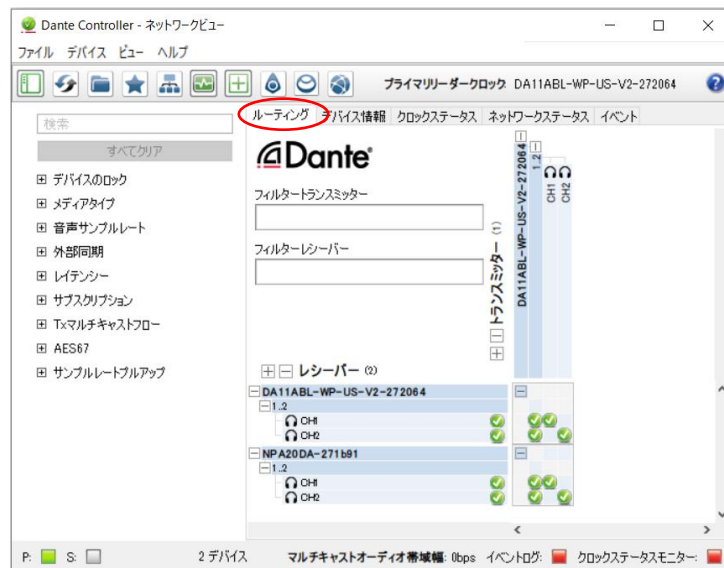
本機の IP アドレス変更

本機は、工場出荷時設定では DHCP 機能が ON に設定されています。

DHCP 機能が存在しないネットワークに接続する場合は、後述の Telnet 接続で PC と本機を接続して API もしくは Web GUI で設定してください。(本書 P29『Windows PC で Telnet 通信を行うための設定』参照)

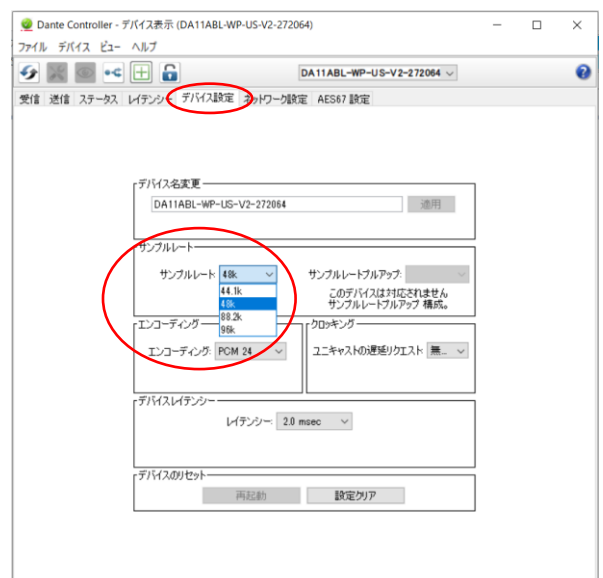
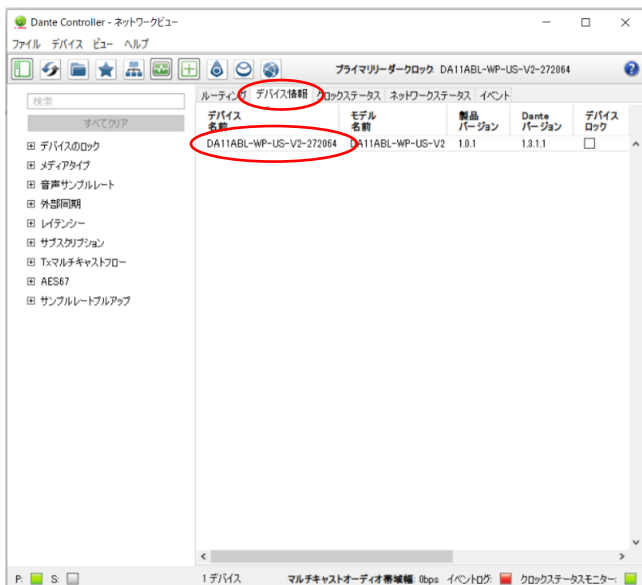
Dante コントローラー基本操作

「ルーティング」画面では、システム内の Dante 送受信機間のオーディオルーティングを作成できます。PC が Dante デバイスと同じネットワークにあることをご確認ください。

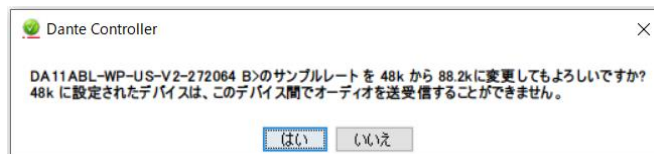


詳細設定

Dante コントローラーの「デバイス情報」>「デバイス設定」画面から、本機の設定変更が可能です。ここでは、サンプルレートとエンコードビットレートを調整することができます。



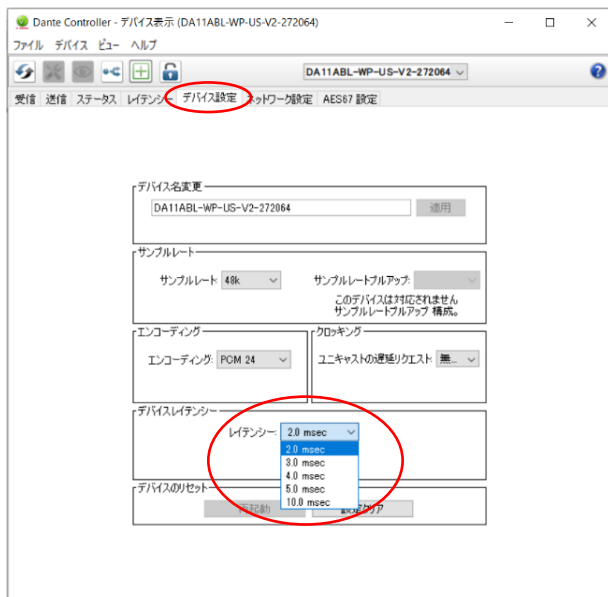
※新しい設定を適用する場合は、「はい」を選択してください。



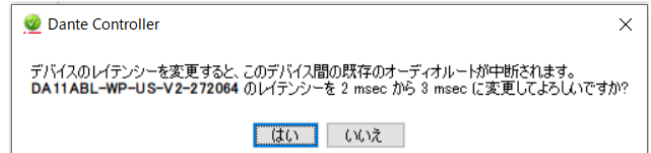
注意

Dante 製品では、同じサンプルレートが設定されているエンコーダ(送信機)とデコーダ(受信機)間のみでオーディオ伝送が可能です。サンプルレートが一致していないと、オーディオの送信が停止する可能性があります。接続する他の Dante 機器と同じビットレート、およびサンプルレートで設定されているかご確認ください。

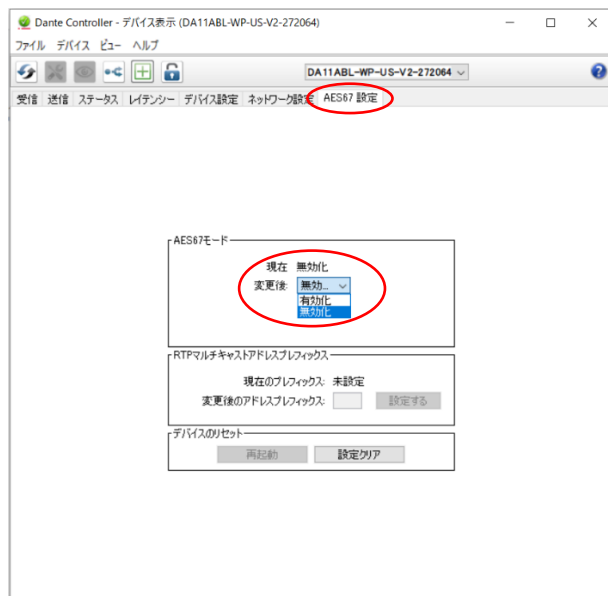
また[デバイス設定]画面では、本機のレイテンシーを 2/3/4/5/10ms で設定することもできます。



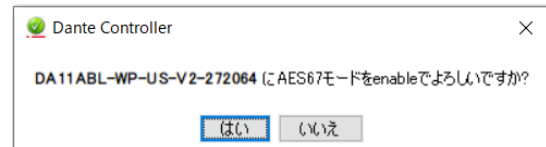
※新しい設定を適用する場合は、「はい」を選択してください。



[AES67 設定]画面では、本機の AES67 RTP オーディオの有効/無効の設定ができます。



※新しい設定を適用する場合は、「はい」を選択してください。



注意

※AES67 モードが有効になっている場合、本機から送受信される Dante デジタルオーディオも 24 ビット、48kHz に制限されます。

Web GUI について

本機には、デバイスの制御と設定が可能な Web GUI が搭載されています。

Web GUI への接続手順

- ① 下図のように DHCP 機能対応のネットワークスイッチに本機と PC を接続してください。



本機はデフォルトで DHCP 機能が ON に設定されています。
DHCP 機能非対応のネットワーク環境でご利用の際、は本書 P29『Windows PC で Telnet 通信を行うための設定』を参照してください。

- ② 本機に割り振られた IP アドレスは Dante コントローラーの「デバイス情報」タブで確認できます。



- ③ PC 側で Web ブラウザ (Microsoft Edge や Google Chrome) を立ち上げ、URL 入力欄に、本機の IP アドレスを入力し、Web GUI にアクセスしてください。

また、Web GUI へは下記ドメイン名でもアクセス可能です。

ドメイン名(初期値)	DA11ABL-WP-US-V2-xxxxxx.local
------------	-------------------------------

※xxxxxxは本機 MAC アドレスの下 6 桁。

※ドメイン名は Web GUI に接続後、変更することが可能です。

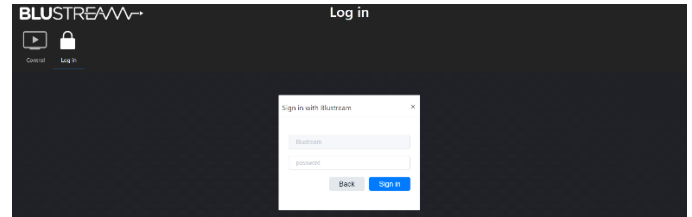
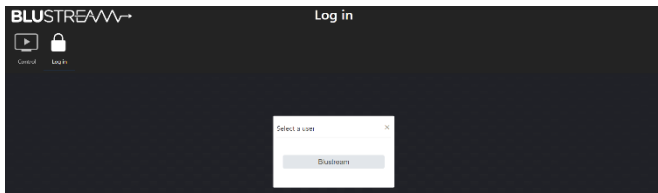
(本書 P21『■Admin アカウント Setting メニュー』参照)

- ④ Web GUI に接続するとログインページが表示されます。Admin アカウントのパスワードの初期値は以下となります。

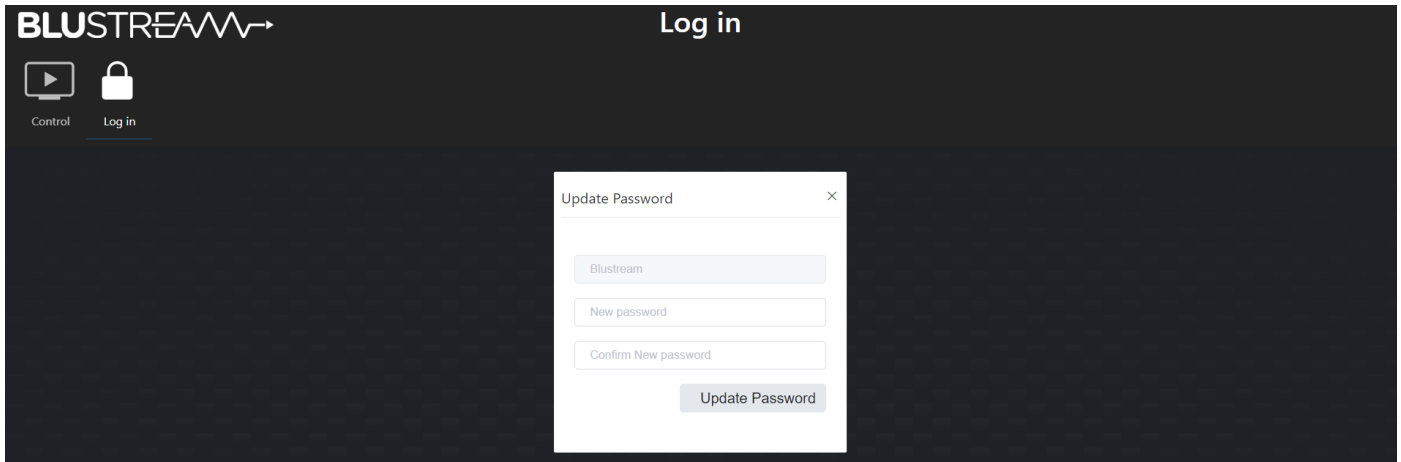
Admin アカウント	blustream
Admin アカウントパスワード(初期値)	1234

Web GUI の Log in ページについて

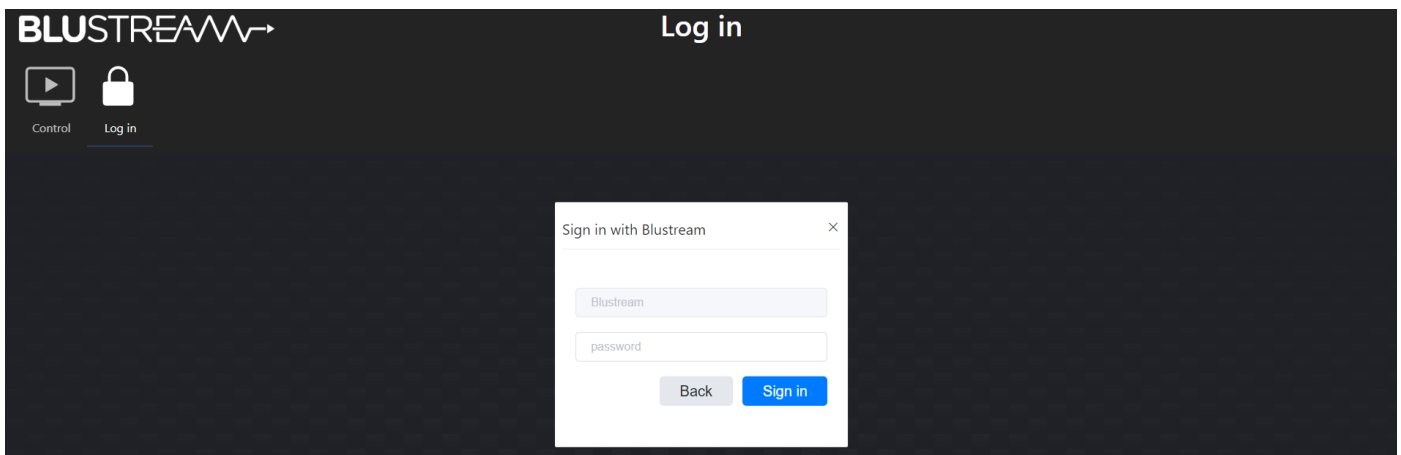
■初回ログイン時



- ① Log in ボタンから Blustream (Admin) を選択 ② Password に初期値“1234”を入力し Sign in



- ③ 初めて Web GUI にログインした際、デフォルトの管理者パスワードを変更するように求められます。任意のパスワードを設定後に Update Password ボタンを押下しパスワードを変更してください。
 ※このパスワードを忘れた場合、API コマンドや PAIR ボタン操作で本機をリセット (RESET ALL) する以外に回復手段がないため、忘れないようご注意ください。(本書 P26『API コマンド一覧』参照)



- ④ 設定した Password を入力し、Sign in ボタン押下で Admin ログインします。

■二度目以降のログイン時

上記、①の画面でログインユーザーを選択し、④の画面で各アカウントに設定したパスワードを入力します。

Web GUI のログインアカウント操作権限の設定

本機の Web GUI のログインアカウントは下記 2 種類があります。

アカウント	アクセスできる Web GUI のメニュー					
	Control	Users	Settings	Information	Update Password	Log out
Admin (管理者)	○	○	○	○	○	○
User (ユーザー)	○	X	X	X	○	○

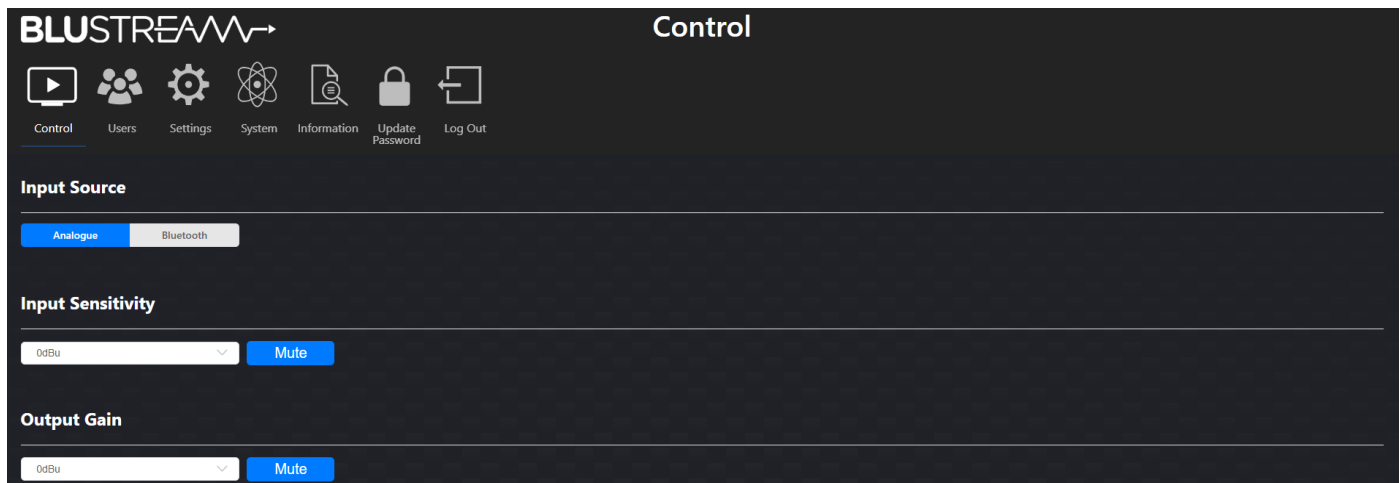
各アカウントの Web GUI ページについて

■Admin アカウント

全ての機能へのアクセスと、User アカウント作成、また作成した各 User アカウントへのアクセス許可の割当設定を行うことができます。

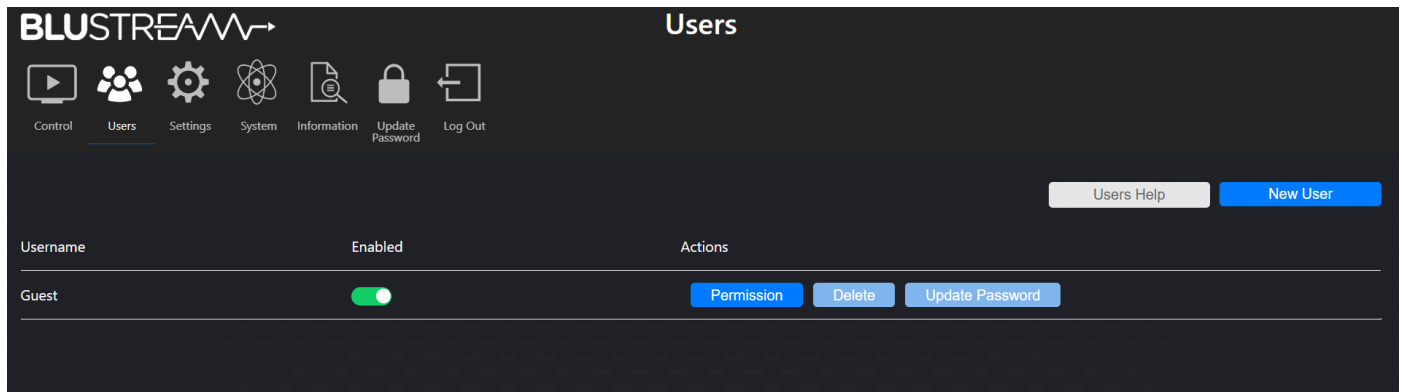
※Web GUI に初回接続時にログインします。

Control メニュー



カテゴリー	項目	説明
Input Source	Analogue ボタン	入力ソースをアナログに切り替え
	Bluetooth ボタン	入力ソースを Bluetooth に切り替え
Input Sensitivity	プルダウン	アナログ入力感度を以下の値から設定 +24dBu、+21dBu、+18dBu、+15dBu、+12dBu、+9dBu、+6dBu、+4dBu、0dBu、0dBV、-3dBV、-6dBV、-10dBV、-14dBV、-20dBV、-28dBV
	Mute ボタン	ボタンを押すたびにミュート ON/OFF を切り替え
Output Gain	プルダウン	アナログ/Bluetooth ソースの出カゲインを以下の値から設定 +20dBu、+18dBu、+15dBu、+12dBu、+9dBu、+6dBu、+4dBu、0dBu、0dBV、-3dBV、-6dBV、-10dBV、-14dBV、-20dBV、-24dBV、-28dBV
	Mute ボタン	ボタンを押すたびにミュート ON/OFF を切り替え

Users メニュー



User アカウントの追加、削除及び、パスワードの設定/変更
 User アカウントで切り替え可能な各操作の権限を設定

項目	説明
Users Help ボタン	ヘルプを表示
New User ボタン	新規 User を作成 ユーザー名、パスワード、切り替え可能な各操作の権限を設定 ※下記、新規 User 追加方法参照
Username	各アカウント名を表示 ※自動的に Guest アカウント作成されます。 このアカウントはログイン情報を持たず、削除も不可のアカウントとなります。 不要な場合は、Enabledスイッチにて無効にできます。
Enabled スイッチ	該当 User のログイン可否を設定
Permission ボタン	チェックを付けて各アカウントで制御可能な下記 3 つの操作の権限を設定 Input Source Input Sensitivity Output Gain
Delete ボタン	該当 User アカウントを削除
Update Password ボタン	該当 User アカウントのパスワードを変更

新規 User 追加方法

設定項目	説明	設定値
Username	任意の新規ユーザー名を入力	半角英数 12 文字まで
Password	任意のパスワードを入力	半角英数 8 文字まで
Confirm Password	任意のパスワードを再入力	

Settings メニュー

The screenshot shows the BLUStream Settings interface. At the top, there are navigation icons for Control, Users, Settings (selected), System, Information, Update Password, and Log Out. Below this, the 'IP Setting' section is visible, containing fields for IP Mode (Static/DHCP), IP Address, Subnet, TCP Port, Gateway, Telnet Port, and Domain Name. The 'Product Model Setting' section below it has a field for Product Model. At the bottom, there are 'Set Network Defaults' and 'Save' buttons.

IP Setting

カテゴリー	項目	説明
IP Mode	Static ボタン	IP アドレスを Static(固定)に設定
	DHCP ボタン	DHCP 機能を ON
IP Address	-	IP Mode を Static(固定)に設定時、任意の IP アドレスを入力
Subnet	-	IP Mode を Static(固定)に設定時、任意のサブネットマスクを入力
TCP Port	-	TCP Port 番号を入力(初期値:8000)
	Enable スイッチ	TCP Port の ON/OFF を設定
Gateway	-	IP Mode を Static(固定)に設定時、任意のゲートウェイを入力
Telnet Port	-	Telnet 接続時に使用するポートを設定(初期値:23)
	Enable スイッチ	Telnet Port の ON/OFF を設定
Domain Name	-	任意のドメイン名に変更(初期値:DA11ABL-WP-US-V2-xxxxxx) ※xxxxxxは本機 MAC アドレスの下 6 桁

Product Model Setting

Product Model	-	Telnet 接続時に表示される本機の名前を設定 (初期値:DA11ABL-WP-US-V2)
-	Set Network Defaults ボタン	「OK」を押すと、ネットワーク設定を初期化
-	Save ボタン	「OK」を押すと、本頁で設定した項目を確定し適用

System メニュー

BLUStream System

Control Users Settings System Information Update Password Log Out

Input Setting

First Priority: Analogue Bluetooth

Auto Switch: Off 5s 15s 30s 60s

Manual Switch: Off 2x Press 3x Press

Factory Reset: Off 5x Press

Bluetooth Setting

Bluetooth Name: DA11ABL-WP-US-V2 Save

Bluetooth Pairing: Off On Manual Pair Timeout Countdown

Manual Disconnect: Off 3s 5s 10s

Allowed Sources: 1x Source 2x Source

Bluetooth Source: Disconnected

LED Setting

Power Light: Off Always on 15s 30s 60s

BT Light: Off Always on 15s 30s 60s

ID Light: Off Always on 15s 30s 60s

Firmware Update

MCU Update: Browse... No file chosen Update

DEP SDK Update: Browse... No file chosen Update

Factory Reset (Excludes Network Settings): Reset

Factory Reset All (Includes Network Settings): Reset All

Reboot: Reboot

Input Setting

カテゴリー	項目	説明
First Priority	Analogue ボタン	Analogue/Bluetooth で入力ソースの優先度を設定
	Bluetooth ボタン	
Auto Switch	Off ボタン	選択したソースが検出されない際の自動ソース切り替え機能を OFF
	5s ボタン	選択したソースが検出されない際、自動で 5 秒後にソース切り替え
	15s ボタン	選択したソースが検出されない際、自動で 15 秒後にソース切り替え
	30s ボタン	選択したソースが検出されない際、自動で 30 秒後にソース切り替え
	60s ボタン	選択したソースが検出されない際、自動で 60 秒後にソース切り替え
Manual Switch	Off ボタン	PAIR ボタンを押すことによる、入力ソース切り替え機能をOFF
	2x Press ボタン	PAIR ボタンを2回連続押下で、入力ソースをアナログ⇄Bluetooth 交互に切り替える
	3x Press ボタン	PAIR ボタンを3回連続押下で、入力ソースをアナログ⇄Bluetooth 交互に切り替える
Factory Reset	Off ボタン	PAIR ボタン押下による、本機の RESET ALL 実行機能をOFF
	5x Press ボタン	PAIR ボタンを5回連続押下による、本機の RESET ALL 実行機能を ON

Bluetooth Setting

カテゴリー	項目	説明
Bluetooth Name	-	半角英数 30 文字までで、任意の Bluetooth 名を設定
	Save ボタン	設定した Bluetooth 名を確定し適用
Bluetooth Pairing	Off ボタン	本機の Bluetooth 接続機能を常時 OFF
	On ボタン	本機の Bluetooth 接続機能を常時 ON(初期値)。
	Manual ボタン	PAIR ボタンを押下した際のみ Bluetooth 接続設定が可能になる
	PAIR ボタン	Manual 設定時に押下すると Bluetooth 接続設定が可能になる
	Timeout	Manual 設定時に、Bluetooth 接続設定が可能な時間を設定 ※設定した時間内に接続を確立できないとタイムアウトとなる
Manual Disconnect	Off ボタン	PAIR ボタン長押しで、接続中の Bluetooth を切断する機能を OFF
	3s ボタン	PAIR ボタン 3 秒長押しで、全ての Bluetooth 接続を切断(初期値)
	5s ボタン	PAIR ボタン 5 秒長押しで、全ての Bluetooth 接続を切断
	10s ボタン	PAIR ボタン 10 秒長押しで、全ての Bluetooth 接続を切断
Allowed Sources	1x Source	本機と Bluetooth 接続可能なデバイス数を 1 台に設定(初期値)
	2x Source	本機と Bluetooth 接続可能なデバイス数を 2 台に設定
Bluetooth Source Priority	First play ボタン	再生中の Bluetooth 入力優先(2xSource 選択時のみ表示)
	Last play ボタン	後から再生する Bluetooth 入力優先(2xSource 選択時のみ表示)
Bluetooth Source	 	本機と Bluetooth デバイスを切断/接続する(青=接続中)
		本機と Bluetooth 接続したことがあるデバイス名を削除

LED Setting

カテゴリー	項目	説明
Power Light	Off ボタン	電源 LED を常時 OFF
	Always on ボタン	本機に電源投入中常時点灯(初期値)
	15s ボタン	本機に電源投入時 15 秒間点灯し消灯
	30s ボタン	本機に電源投入時 30 秒間点灯し消灯
	60s ボタン	本機に電源投入時 60 秒間点灯し消灯
BT Light	Off ボタン	Bluetooth LED を常時 OFF
	Always on ボタン	本機に Bluetooth 接続中常時点灯(接続可能状態は点滅)(初期値)
	15s ボタン	本機に Bluetooth 接続中 15 秒間点灯(接続可能状態は点滅)し消灯
	30s ボタン	本機に Bluetooth 接続中 30 秒間点灯(接続可能状態は点滅)し消灯
	60s ボタン	本機に Bluetooth 接続中 60 秒間点灯(接続可能状態は点滅)し消灯
ID Light	Off ボタン	ID LED を常時 OFF(初期値)
	Always on ボタン	ID LED を常時点滅
	15s ボタン	ID LED を 15 秒間点滅させ消灯
	30s ボタン	ID LED を 30 秒間点滅させ消灯
	60s ボタン	ID LED を 60 秒間点滅させ消灯

Firmware Update

カテゴリー	項目	説明
MCU Update	Browse..ボタン	使用しません(保守用)
	Update ボタン	使用しません(保守用)
DEP SDK Update	Browse..ボタン	使用しません(保守用)
	Update ボタン	使用しません(保守用)
Factory Reset	Reset ボタン	ネットワーク/アカウント設定を除く、本機システム設定をリセット
Factory Reset All	Reset All ボタン	ネットワーク/アカウント設定を含む、本機システム設定をリセット
Reboot	Reboot	本機をリブート

Information メニュー

Status	
Model	DA11ABL-WP-US-V2
Firmware Version	V1.1.0/V2.0.0
Bluetooth Version	V0.2.8
DEP SDK	V1.3.1.1_20231222
Hostname	DA11ABL-WP-US-V2-272064
IP Address	192.168.57.72
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.57.3
MAC Address	34:D0:B8:27:20:64
Uptime	0000:00:12:16

本機の、Model、Firmware Version、Bluetooth Version、DEP SDK、Hostname、IP Address、Subnet Mask、Gateway、MAC Address、Uptime 情報が確認できます。

Update Password メニュー

Admin のパスワードを変更

※このパスワードを忘れた場合、API コマンドや PAIR ボタン操作で本機をリセット(RESET ALL)する以外に回復手段がないため、忘れないようご注意ください。(本書 P26『API コマンド一覧』参照)

Log Out メニュー

選択すると Admin アカウントからログアウトします。

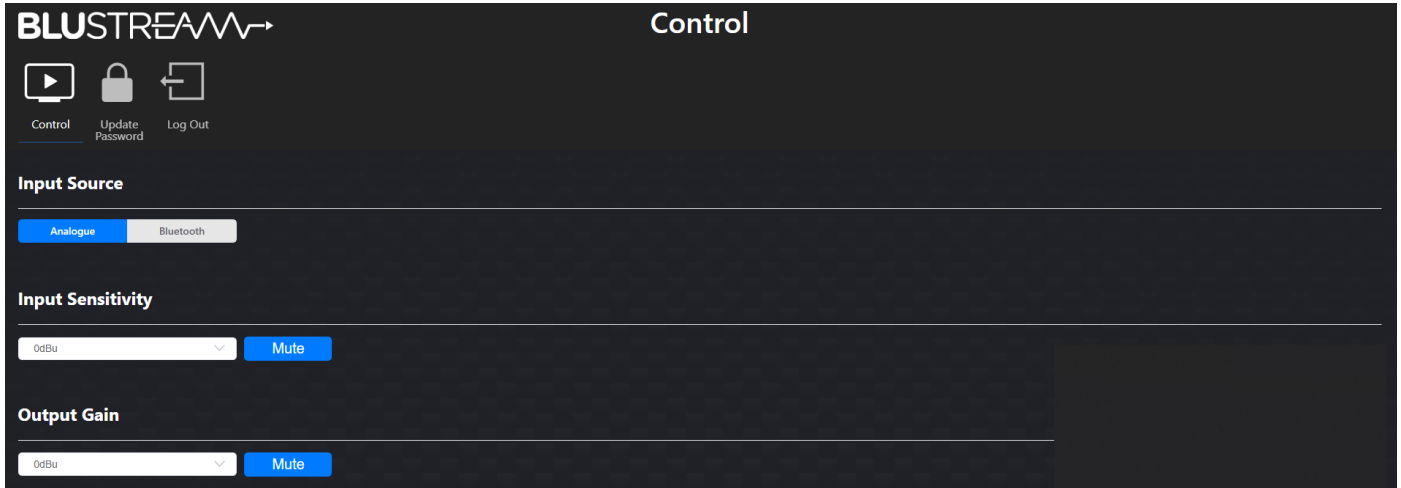
■User アカウント

Admin の Users メニューから個別の Username と Password を設定し作成。

Admin が許可した範囲で Control メニューの Input Source、Input Sensitivity、Output Gain の設定変更ができることに加え、[Update Password] ボタンから自身のパスワードを変更、[Log Out] ボタンからログアウトすることもできます。

※User アカウントの各権限を設定するためには、Admin アカウントで設定する必要があります。

Control メニュー(User アカウント用)



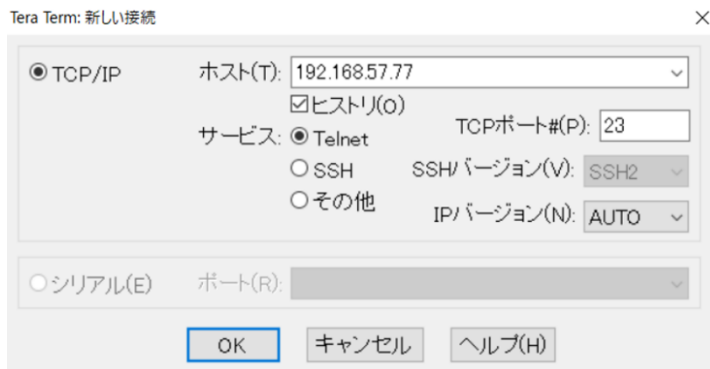
カテゴリー	項目	説明
Input Source	Analogue ボタン	入力ソースをアナログに切り替え
	Bluetooth ボタン	入力ソースを Bluetooth に切り替え
Input Sensitivity	プルダウン	アナログ入力感度を以下の値から設定 +24dBu、+21dBu、+18dBu、+15dBu、+12dBu、+9dBu、 +6dBu、+4dBu、0dBu、0dBV、-3dBV、-6dBV、-10dBV、 -14dBV、-20dBV、-28dBV
	Mute ボタン	ボタンを押すたびにミュート ON/OFF を切り替え
Output Gain	プルダウン	アナログ/Bluetooth ソースの出力ゲインを以下の値から設定 +20dBu、+18dBu、+15dBu、+12dBu、+9dBu、+6dBu、 +4dBu、0dBu、0dBV、-3dBV、-6dBV、-10dBV、-14dBV、 -20dBV、-24dBV、-28dBV
	Mute ボタン	ボタンを押すたびにミュート ON/OFF を切り替え

Telnet 経由で本機を制御

本機は、Telnet経由での制御も可能です。設定方法と利用可能な全てのAPIコマンドを以下に記します。

ターミナルエミュレータソフトウェア設定例

ターミナルエミュレーター『Tera Term』を利用する場合は、以下のように設定をしてコマンド送信を行ってください。(検証時のバージョン:v4.106)



項目	設定値
ホスト(T)	本機の IP アドレス
TCP ポート #(P)	23(初期値)
サービス	Telnet

※Windows PC での接続情報は、本書 P29『[Windows PC で Telnet 通信を行うための設定](#)』をご確認ください。

API コマンド一覧

API コマンド	内容
?/HELP	ヘルプを表示
STATUS	システムとポートの状態を表示
UPTIME	システムの稼働時間を表示
RESET	ネットワークとアカウント設定を除く、本機のシステム設定をリセット ("Yes"でリセットを確定、"No"で戻る)
RESET ALL	ネットワークとアカウント設定を含む、本機のシステム設定をリセット ("Yes"でリセットを確定、"No"で戻る)
REBOOT	本機をリブート
IDLED ON/ OFF/15/30/60	ID LED を常時 ON/OFF、もしくは 15/30/60 秒間点滅後に消灯に設定
BTLED ON/ OFF/15/30/60	Bluetooth LED を常時 ON/OFF、もしくは 15/30/60 秒間点灯(接続可能状態は点滅)後に消灯に設定
PWRLED ON/ OFF/15/30/60	電源投入時に電源 LED を常時 ON/OFF、もしくは 15/30/60 秒点灯後に消灯に設定
RESET ON/OFF	PAIR ボタンを5回連続押下による、本機の RESET ALL 実行機能を ON または OFF に設定
BT NAME xx	半角英数で、任意の Bluetooth 名を設定(xx は最大 30 文字)
BT PAIR MODE xx	本機の Bluetooth 接続機能を xx に設定 xx=[0/1/2] 0:OFF、1:ON、2:Manual(要:PAIR ボタン押下)
BT TIMEOUT xx	上記、Manual 設定時に、Bluetooth 接続設定が可能な時間を xx 秒に設定 xx=[1~999]秒 ※設定時間内に接続を確立できないとタイムアウトとなる。

BT SOURCE	本機と Bluetooth 接続中のデバイスをリスト表示
BT MDBT xx	PAIR ボタン長押しで、Bluetooth 接続デバイスを切断する機能の長押し時間を xx 秒に設定 xx=[0/3/5/10] 0:切断機能を無効、3:3 秒、5:5 秒、10:10 秒
BT RXCD xx	Bluetooth 接続中のデバイスリストの ID で接続するデバイスを xx で選択 xx=[1/2]
BT RXDIS xx	Bluetooth 接続中のデバイスリストの ID で切断するデバイスを xx で選択 xx=[1/2]
BT RXPN xx	Bluetooth で接続可能なデバイス数を xx に設定 xx=[1/2] 1:1 台、2:2 台
BT PRIORITY xx	Bluetooth オーディオの優先度を xx に設定 xx=[0/1] 0:再生中の Bluetooth 入力を優先 1:後から再生する Bluetooth 入力を優先(初期値)
BT IN MUTE ON/OFF	Bluetooth のミュート ON/OFF を設定
BT RXPAIR	Bluetooth を Manual 設定時に Bluetooth 接続設定が可能になる ※設定した時間内に接続を確立できないとタイムアウトとなる
AUTO SW xx	優先度の高いソースが再生停止した際の自動切り替え時間を xx に設定 xx=[0/1/2/3/4] 0:OFF、1:5 秒、2:15 秒、3:30 秒、4:60 秒
MANUAL SW xx	PAIR ボタン連続押下による入力ソース切り替え機能を xx で設定 xx=[0/1/2] 0:OFF、1:2 連続押下、2:3 連続押下
PRIORITY xx	入力のソースの優先度を xx に設定 xx=[1/2] 1:アナログ、2:Bluetooth
IN SOURCE xx	入力ソースを xx に設定 xx=[1/2] 1:アナログ、2:Bluetooth
ANA IN MUTE ON/OFF	アナログ入力のミュートを ON/OFF で設定
ANA IN SENS xx	アナログ入力感度を xx に設定 xx=[0~15]:感度レベル 0:+24dBu 1:+21dBu 2:+18dBu 3:+15dBu 4:+12dBu 5:+9dBu 6:+6dBu 7:+4dBu 8:0dBu 9:0dBV 10:-3dBV 11:-6dBV 12:-10dBV 13:-14dBV 14:-20dBV 15:-28dBV
OUT GAIN xx	アナログ出力ゲインを xx に設定 xx=[0~15]:ゲイン値

	0:+20dBu 1:+18dBu 2:+15dBu 3:+12dBu 4:+9dBu 5:+6dBu 6:+4dBu 7:0dBu 8:0dBV 9:-3dBV 10:-6dBV 11:-10dBV 12:-14dBV 13:-20dBV 14:-24dBV 15:-28dBV
OUT MUTE ON/OFF	出力ミュートを ON/OFF で設定
NET DHCP ON/OFF	本機の DHCP 機能の ON/OFF を設定 ^{※6}
NET IP xxx.xxx.xxx.xxx	本機の DHCP 機能を OFF にした際、任意の IP アドレスを設定 ^{※6※7}
NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	本機の DHCP 機能を OFF にした際、任意のゲートウェイを設定 ^{※6※7}
NET SM xxx.xxx.xxx.xxx	本機の DHCP 機能を OFF にした際、任意のサブネットマスクを設定 ^{※6※7}
NET TCPPORT ON/OFF	TCP port の ON/OFF を設定
NET TCPPORT xxxx	TCP port をxxxxに設定(初期値:8000)
NET TN ON/OFF	Telnet の ON/OFF を設定
NET RB	ネットワーク設定をリブートし、新しい設定を適用
NET TN xxxx	Telnet 接続時に使用するポートをxxxxに設定(初期値:23)
NET DNS xxxx	本機のドメイン名をxxxxに変更(初期値:DA11ABL-WP-US-V2-xxxxxx) ※xxxxxxは本機 MAC アドレスの下 6 桁

※6 新しいネットワーク設定を適用するには、NET RB コマンドで本機のネットワーク設定をリブートする必要があります。

※7 本機の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する前に、本機の DHCP 機能を OFF にする必要があります。

Windows PC で Telnet 通信を行うための設定

本機の初期設定値

カテゴリー	項目	初期設定値
ネットワーク設定	DHCP	ON
	IPアドレス	169.254.xxx.xxx
	サブネットマスク	255.255.0.0
	ゲートウェイ	169.254.0.1
	Web-GUIなどで本機DHCPをOFFに設定した際の初期設定値	
	IPアドレス	192.168.0.200 ※一度取得した動的 IP アドレスは DHCP 機能を OFF に設定した後も、静的 IP として引き継がれます。
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.0.1

以下の手順で接続を試してください。(Windows10 の操作を例に説明)

1. PC と本機を DHCP 機能対応ネットワークスイッチを経由して、LAN ケーブルで接続します。
※DHCP 機能非対応のネットワーク環境でご利用の際は、サードパーティ制御システムと本機の IP アドレスを同じセグメントに設定してください。(本書 P31『PC の設定 - IP アドレス固定方法』参照)
2. コマンドプロンプト”cmd.exe”を立ち上げます。
3. コマンドプロンプトに次のコマンドを入力します。“**Telnet**”+”**本機の IP アドレス**”
PC と本機の接続が確立すると下記のメッセージが表示されます。

```

=====
DA11ABL-WP-US-V2 Terminal Control System
FW Version : V1.1.0
Type "HELP" For More Information
=====

DA11ABL-WP-US-V2>

```

Telnet 通信エラー

PC と本機の接続が正常に確立されていないと下記のメッセージが表示されます。
『telnet is not recognized as an internal or external command, operable program or batch file』

本機の IP アドレスが検知できない場合

一度ネットワークスイッチ経由ではなく直接 PC と接続して設定をご確認ください。

上記の確認後も問題が解決しない場合は、PCのTFTP&Telnet を有効に設定してから、再度 Telnet 通信を試してください。(次頁『PCの設定 - TFTP&Telnet を有効にする』参照)

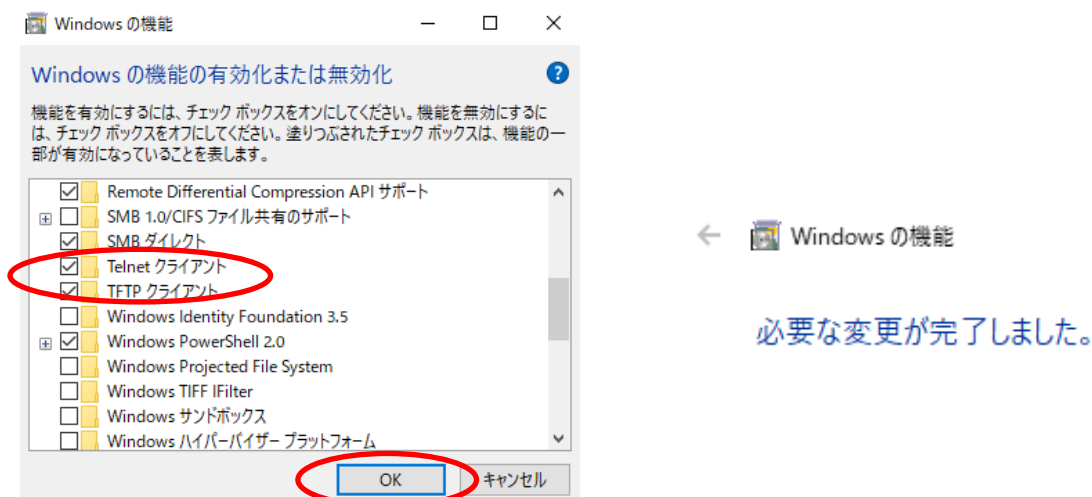
PC の設定 - TFTP&Telnet を有効にする

本機を Telnet でシリアル通信を行う前に、PC の TFTP クライアントと Telnet クライアントの両方の機能を有効に設定する必要があります。以下手順に従い TFTP クライアントと Telnet クライアント機能を有効にしてください。(Windows 10)

1. PC のコントロールパネルを起動し、プログラム→プログラムと機能 の順に選択します。
2. 画面左側にある”Windows の機能の有効化または無効化”を選択します。



3. “Windows 機能” ポップアップ画面内の”Telnet クライアント”及び”TFTPクライアント”にチェックを入れ、”OK”を選択します。



PC の設定 – IP アドレスの固定方法

本機との通信を確立するには、ご利用の PC の IP アドレスを本機の RJ-45 端子と同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

本機の IP アドレスは Telnet の API コマンド”STATUS”で確認できます。また、取得した動的 IP アドレスは DHCP 機能を OFF に設定した後も、静的 IP として引き継がれます

※本機はデフォルトで DHCP 機能がONとなっています。

PC の IP アドレス変更方法

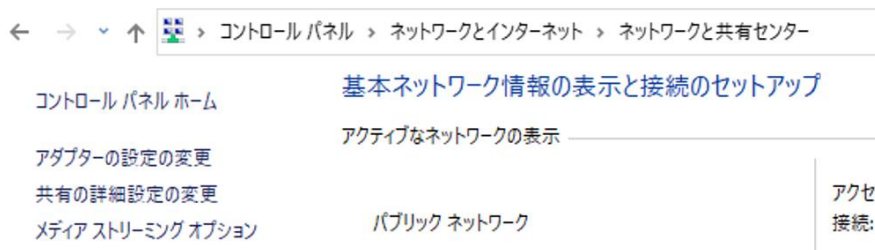
1. Windows ツールバーから”コントロールパネル”を選択。
2. “ネットワークインターネット”を選択。



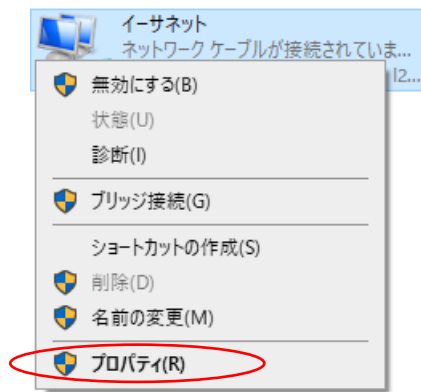
3. “ネットワークの状態とタスクの表示”を選択。



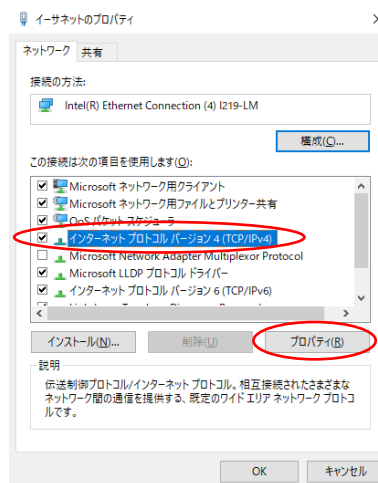
4. “アダプターの設定の変更”を選択。



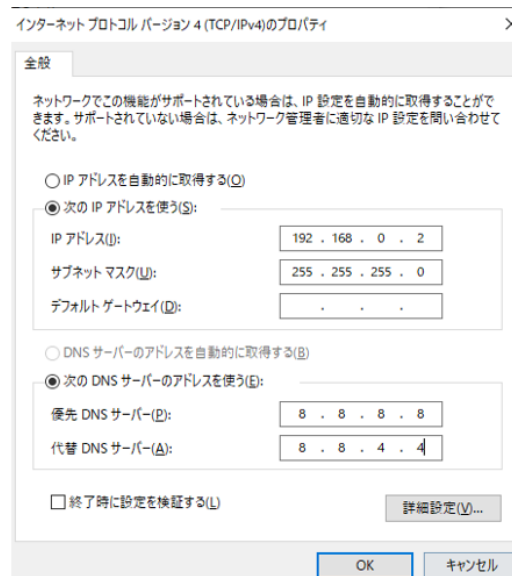
5. “イーサネット”を右クリックし、“プロパティ”を選択。



6. “インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)”を選択し、“プロパティ”を選択。



7. “次の IP アドレスを使う”を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力。
”OK”→”OK”の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



FAQ

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

PoE 給電の場合、ネットワークスイッチが PoE 対応であること、IEEE802.3af 以上の規格に適合した LAN ケーブルを使用されているかご確認ください。

DC 給電の場合は、本機背面の電源入力端子に AC アダプターと正しいピンアサインで結線された付属のターミナルブロックがしっかり差し込んであるかご確認ください。

Bluetooth 入力の切り替えができない

"Bluetooth source priority"設定で First Play ボタンが選択されていると再生中の Bluetooth 入力が優先されます。

"Bluetooth source priority"設定で Last Play ボタンが選択されているかご確認ください。

Bluetooth デバイスの最大接続数は何台ですか

本機は、最大 2 台までの Bluetooth デバイスの同時接続が可能です。

新たに Bluetooth デバイスを接続する際は、接続中の Bluetooth デバイスもしくは本機の Web GUI の Bluetooth Setting より接続を切断して追加してください。

Dante コントローラーに検出されない

下記の項目をご確認ください。

- ・本機の RJ-45 端子のインジケータの点灯が正常であること
- ・接続しているネットワークスイッチの DHCP が ON になっていること
- ・Dante コントローラーで設定する PC は本機と同じネットワークセグメントに接続されていること
- ・Dante コントローラーのバージョンが最新であること

Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。

Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブルを介してネットワークへ接続してください。

接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

Dante コントローラーでデバイス名が赤い文字で表示される

Dante コントローラーで設定する PC のアドレスと Dante 機器の IP アドレスのネットワークアドレスが異なる場合、デバイス名が赤い文字で表示されます。Dante コントローラーで設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。

音声が出力されない

下記の項目をご確認ください。

- ・オーディオケーブルが正常に接続されていること
 - ・オーディオフォーマットが対応していること
 - ・本機 PAIR ボタンを 2 回連続で押下し、アナログ/Bluetooth ソースを切り替えてみる
 - ・オーディオソース機器の出力音量はミュートになっていないこと。入力感度が適切に設定されていること
 - ・本機の入力または出力をミュートに設定していないこと
 - ・本機とパッチしている Dante エンコーダ機器に異常がないこと
 - ・Dante コントローラー上で、各接続機器のビットレート、およびサンプリングレートが一致していること
- 上記全ての項目を確認しても改善されない場合、本機を再起動してみてください。

Bluetooth が接続できない

本機と Bluetooth デバイス間に障害物や電磁波を発する機器がないかご確認ください。

主な仕様

製品型番	DA11ABL-WP-US-V2
入力端子	アナログオーディオ(3.5mm ステレオジャック)x 1
出力端子	アナログオーディオ(RCA L/R)x 1
Dante	RJ-45(100Mbps Dante オーディオ)x1
Bluetooth	Bluetooth V5.0 - SBC / MP3 / AAC / APT-X / APTX-LL / APTX-HD
サンプリング周波数、 ビットレート	44.1/48/88.2/96kHz、16/24/32Bit
電源	PoE(IEEE 802.3af クラス 0 準拠) x 1 DC 12V 1A(2ピンターミナルブロック) x 1
消費電力	最大 3.2W(PoE 時) 最大 2.4W(DC12V 時)
動作温度	0~40℃
保存温度	-20~60℃
本体寸法(WxHxD)	50mm x 104mm x 42mm(プレート、突起含まず) プレート寸法: 70mm x 115mm x 6.5mm
取り付け寸法(WxHxD)	46mm x 69mm x 36mm
本体重量	約 150g(付属品除く)
付属品	専用マグネットプレート x 1 / 2ピンターミナルブロック(ピッチ 3.5mm)x 1(本体に装着済み) / ネジ(サイズ M4x10) x2 / 保証書 x 1
製品保証	ご購入日より 3 年間
適合認証	FCC、CE、RoHS、工事設計認証

※ 必ず事前検証をお願いします。

※ パネルボックスの奥行によっては取り付けられない場合があります。

※ Audinate®、Audinate のロゴ及び Dante®は、Audinate Pty Ltd の登録商標です。

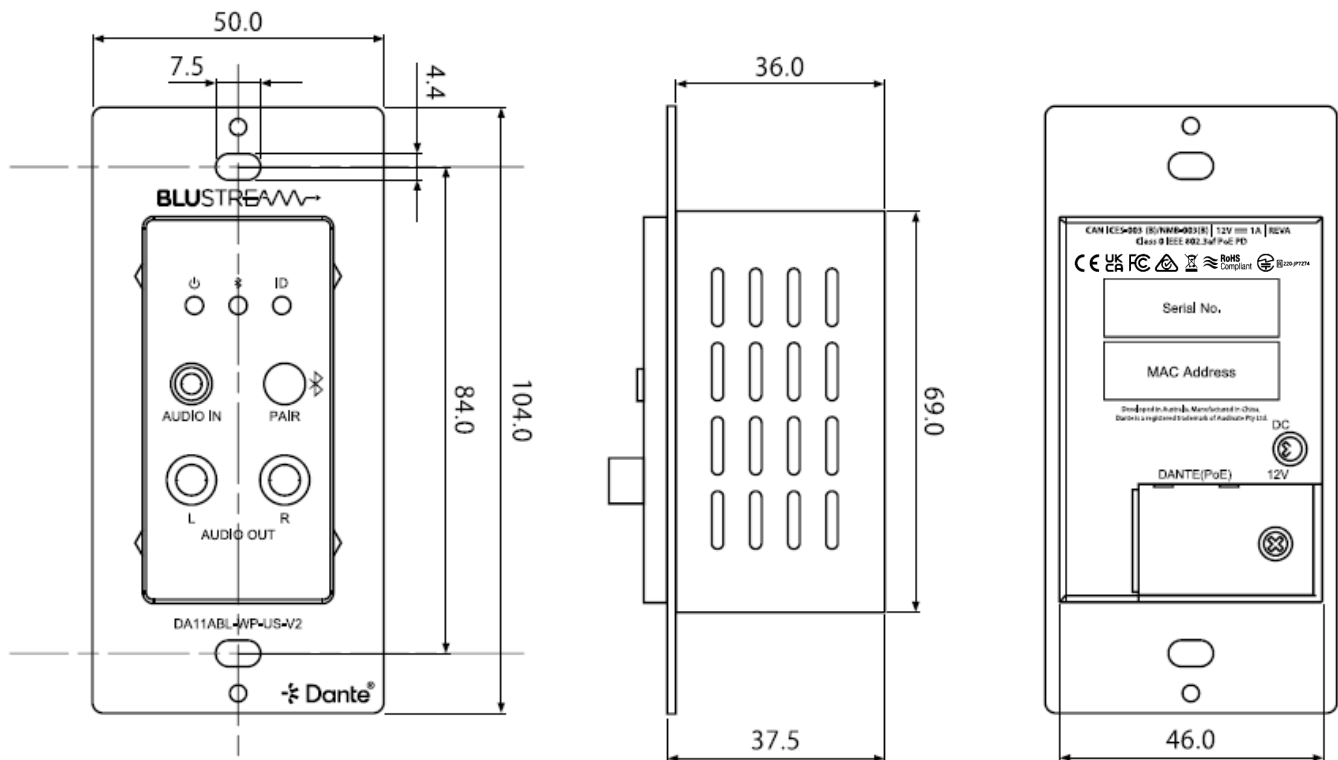
※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

外形寸法

単位:mm(突起物含まず)



サポート専用問い合わせ先

・お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合:

製品のお問い合わせ: www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談: www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問合せの際は以下内容をご確認下さい。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。